

# JAFTMA

## JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

令和2年1月31日 発行 第77号

### 2020年日釣工会長挨拶

## 時代と共に環境と共に心から釣りを楽しめる世界をサポートしていく



一般社団法人  
日本釣用品工業会  
会長 島野 容三

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

旧年中は（一社）日本釣用品工業会（日釣工）の活動に、多大なるご支援・ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

21世紀も早や20年が経過し、わが国では昨年「令和」という新しい時代を迎えました。日本中が厳かな気持ちに包まれた新天皇即位や、空前の盛り上がりを見せたラグビーワールドカップも記憶に新しいところですが、一方で世界的な経済の低迷や政情不安、消費税率引上げによる負担増など、さまざまなハードルが存在していることもまた事実です。国内だけでなく、ますます海外との関係が重要になってくる時代ですが、私ども日釣工も、昨年春、業界の海外ビジネスに関する支援イベント「TPP11と日欧EPA発効に関する釣り用品工業界向け説明会」を実施いたしました。日本の釣り用品工業会にとってもこれからの経営戦略上重要な要素を含んでいるとの認識から、予定数の2倍近い企業の参加を得られ、関心の高さがうかがえました。人々のライフスタイルや価値観がさらに多様化していく中で、グローバルな視点と「今の人」を真摯に見つめる姿勢が、共に肝要になってくるのだと思います。

さて、ともあれ新しい時代の幕開け。今回のジャパンフィッシングショーは、装いも新たに『釣りフェスティバル』の名称で1月17日（金）～19日（日）の3日間、みなとみらい・パシフィコ横浜にて開催いたします。テーマは「釣り文化」を創造し、健やかな未来を育む。日本が誇る世界最先端の技術が生む釣り用品と文化を国内外に発信するイベントとして、出展社・小間数ともに過去最大級のスケールで、従来の釣りファンはもとより釣り未経験の方々にも広くその魅力を訴求いたします。新たな試みとしては、釣り魚にまつわる独自の食文化を提唱する「釣りめしスタジアム」や、近年ファン層の拡大しているアウトドアライフにからめた提案などを予定。また、女子高生が釣りを楽しむコミックとして人気の「放課後ていぼう日誌」テレビアニメ化決定を受け、声優によるトークショーも実施するなど、釣りの楽しさの原点並びに現代的な視点から、よりバラエティ豊かな展開になると確信いたしております。来場者数もここ数年連続して増加しており、特に女性や若年層の増加傾向が顕著になってきております。釣具店さまにおかれましても、こうした趣旨をご理解のうえ広くお知らせいただくことで、お店の活性化にお役立ていただければと存じます。

私ども日釣工も設立からまもなく30年になろうとしていますが、本来の目的はもとより、近年では「社会貢献事業」としての評価も高まってきております。昨年6月には、G20サミットを控えた原田義昭環境大臣（当時）を表敬訪問し「LOVE BLUE事業」について報告をいたしました。大臣からは「各地できめ細やかに取り組まれている素晴らしい事業」とのありがたい評価を頂戴いたしました。また大臣の「環境こそが経済の基」というお考えを伺い、私どもの事業の意義と果たすべき役割の重要性を、改めて心に留めた次第です。

その「LOVE BLUE事業」の優先事業のひとつ「水中クリーンアップ活動」につきましても、昨年は1道1府21県で延べ133日、36箇所で開催いたしました。スタートした2013年以来、累計で766日を数えることとなりますが、「全国豊かな海づくり大会」（宮城県）や「東京2020オリンピック・セーリング競技会場隣接地」（神奈川県）での実施など、地域との連携もますます深まっています。「放流事業」は、実施場所・魚種・尾数ともにさらに拡大いたしました。青森、山形、秋田、神奈川、静岡、大阪、大分、鹿児島県の8府県にて、ヒラメ、クロダイ、マダイなど全7魚種、合計60万9,850尾の稚魚を放流。7年間の実績は約200万尾にも達します。また、地球環境基金との協働により水辺の環境保全活動を行う諸団体を支援する「LOVE BLUE助成」も、清掃活動や水辺の生態観察、里海文化の保全と継承など、海辺から河川、湖沼まで幅広いシーンで実を結んでいます。全商品に添付をお願いしております「環境・美化マーク」につきましても、釣具店さまには引き続きご協力を賜りお力添えいただけますよう、改めてお願い申し上げます。

日釣工は本年も、釣りレジャーの地位向上のため、社会と共生できる釣りを目指し、環境に配慮した道具づくりをはじめとして、国民生活を豊かにする釣りの創造に積極的に取り組んでまいります。今後とも変わらぬご厚誼を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### CONTENTS

島野会長年頭のご挨拶	P.1
釣りフェスティバル2020 —in Yokohama— 開催報告	P.2
アングラーズアイドル2020	P.3
ロイヤルアングラー2020	P.4
LOVE BLUE委員会からのお知らせ	P.5
規格・安全委員会からのお知らせ	P.7
企画プロジェクト 初回無料法律相談	P.7
第23回「釣用品の国内需要動向調査報告書」発刊のご案内	P.7
第29回理事会開催報告	P.8
会員情報	P.8
事務局だより	P.8

# 釣りフェスティバル Fishing Fest. 2020 in Yokohama

## ～ 釣りフェスティバル2020 — in Yokohama — 開催報告～

釣りフェスティバル2020は、経済産業省、神奈川県、横浜市、(公財)日本釣振興会、全国釣竿公正取引協議会の後援のもと、横浜・みなとみらいにあるパシフィコ横浜で海外企業を含む198社(団体)737小間の出展を得て1月17日(金)から19日(日)までの3日間にわたり開催され、44,293名(前年比106.1%)の来場をいただきました。オープニングセレモニーは初日9時15分よりメインステージで行なわれ、主催者を代表して島野容三会長が開会の挨拶を行い、今村雅弘衆議院議員、大家敏志参議院議員、亀山渉経済産業省製造産業局生活製品課伝統工芸品産業室長、梶晃三横浜市文化観光局観光MICE振興部MICE振興課課長、公益財団法人日本釣振興会の高宮俊諦会長が祝辞を述べられました。その後、国土交通省、海上保安庁、水産庁、全国内水面漁業協同組合連合会、日本小型船舶検査機構、大阪釣具協同組合、EFTTAのご来賓を交えてテープカットが行われました。また、開会式に引き続き、臨港パーク「潮入の池」において、ご来賓とともに地元の保育園児を迎え、LOVE BLUE事業放流式典を実施致しました。



さて、今回の開催に当たり、「釣り文化」を創造し、健やかな未来を育む」という開催理念を掲げ、「釣り」を通して豊かな社会に貢献する未来を創造したいという思いを持って、様々な企画を進めてまいりました。

世界が認める品質と人気を誇る、最新の釣具・関連用品の進化と魅力の紹介はもちろんのこと、新たな試みとして実施した、釣り魚の食文化を提唱する「釣りめしスタジアム」や、近年ファン層の拡大しているアウトドアライフにからめた提案などによって、ご来場頂いた特に女性や若年層の皆様には、今まで以上に充分ご満足いただけたものと考えております。

次回の「釣りフェスティバル2021 — in Yokohama —」は、来る2021年1月22日(金)～1月24日(日)に、今年と同じパシフィコ横浜での開催が決定しております。「より広く、より深く」をコンセプトに、多くの方々に釣りの楽しい世界観を発信してまいりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



### 釣りフェスティバル2020 — in Yokohama — 入場者数

\* 開催場所：パシフィコ横浜

区 分/日付	第1日目			第2日目			第3日目			総合計			
	1/17 (金)	前年度	前年比	1/18 (土)	前年度	前年比	1/19 (日)	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比	
入場者数 内訳詳細	1. 釣用品関係者	1,184	1,293	91.6%	81	81	100.0%	52	50	104.0%	1,317	1,424	92.5%
	2. 一般入場者	5,279	5,028	105.0%	13,440	14,338	93.7%	14,513	13,434	108.0%	33,232	32,800	101.3%
	3. 身障者	223	154	144.8%	559	458	122.1%	479	402	119.2%	1,261	1,014	124.4%
	4. 高校生以下・70歳以上	668	354	188.7%	2,827	2,004	141.1%	3,175	2,448	129.7%	6,670	4,806	138.8%
	5. プレス関係者	295	279	105.7%	152	137	110.9%	62	87	71.3%	509	503	101.2%
	6. その他(招待者等)	265	243	109.1%	537	451	119.1%	502	517	97.1%	1,304	1,211	107.7%
小計	7,914	7,351	107.7%	17,596	17,469	100.7%	18,783	16,938	110.9%	44,293	41,758	106.1%	

男女別	男 性	6,515	6,201	105.1%	14,028	14,055	99.8%	14,590	13,591	107.4%	35,133	33,847	103.8%
	女 性	1,399	1,150	121.7%	3,568	3,414	104.5%	4,193	3,347	125.3%	9,160	7,911	115.8%

釣りフェスティバル  
Fishing Fest. 2020 in Yokohama

The main page features a large, detailed event map at the top, showing various fishing-related activities and locations. Below the map is a prominent advertisement for the '釣リフェスティバル' (Fishing Festival) held from 1.17 to 1.19, highlighting '新商品が大集合!!' (A large collection of new products!!) and 'みなとみらい・パシフィコ横浜' (Minato Mirai, Yokohama Pacifico). The page is filled with smaller text blocks, photos, and logos of participating organizations like JAF, JFA, and various fishing clubs.

This page provides a detailed schedule and program for the fishing festival. It includes a large grid of activities categorized by date and time. Key sections include:
 

- 釣リフェスティバル**: A comprehensive program for the festival, listing various fishing techniques, seminars, and exhibitions.
- 釣りフェスティバル**: A section dedicated to the festival's activities, including fishing contests, seminars, and live performances.
- 釣りフェスティバル**: A section for fishing-related seminars and workshops, such as '釣りフェスティバル' and '釣りフェスティバル'.
- 釣りフェスティバル**: A section for fishing-related seminars and workshops, such as '釣りフェスティバル' and '釣りフェスティバル'.

## アングラーズアイドル



アングラーズアイドル2020は、いちき 花穂さんが、選出されました。「アングラーズアイドル」は、釣りに直接興味を持っていない方々にも、釣りに関心を持っていただき、釣りの楽しさを知っていただくきっかけをつくることを目的としています。一木さんは釣り歴がまだ短いながらも、釣りへの愛に溢れ内に秘めた静かな情熱が伝わって来ました。自身の経験を通して広く爽やかに釣りの魅力を発信してくれることを期待しています。

### ご本人のコメント

釣りとお出合って1年ほどの私ですが、プライベートで年間50回以上も釣りに行く程、釣りには沢山の魅力に溢れているので、それをもっともっとこれから発信していきたいです。これから色々な釣りを経験出来たり、沢山の出会いがあると思うとワクワクしています。この期間中、応援頂いた方々本当にありがとうございました。見かけたら気軽に声を掛けてくれると嬉しいです。よろしくお願いします！



## ロイヤルアングラ―2020

日釣工では、日頃フィッシングに対し造詣が深く、フィッシングを趣味とし愛好されている方及び釣り文化の発展に貢献されている方々に対し「ロイヤルアングラ―」として表彰させて頂いております。今年度は、ミュージシャンの高橋幸宏様が受賞されました。

### 高橋幸宏様の紹介

1972年、“Sadistic Mika Band”に参加。1978年、細野晴臣、坂本龍一とともに“Yellow Magic Orchestra (Y.M.O.)”を結成。ソロとしては、1978年の1stアルバム『Saravah!』以来、2013年の『LIFE ANEW』、更に、ソロ活動40周年を記念し、1stアルバム『Saravah!』のヴォーカルをリテイクし、ミックスダウン&マスタリングを新たに施した『Saravah Saravah!』(2018年リリース)まで通算23枚のオリジナル・アルバムを発表。ソロ活動と併行して、鈴木慶一(ムーンライダーズ)との“THE BEATNIKS”、原田知世や高野寛、高田漣等との“pupa”(ピューパ)、小山田圭吾、砂原良徳、TOWA TEI、ゴンドウトモヒコ、LEO今井とのバンド“METAFIVE”など様々なバンドで活動。ファッション・デザイナーとしても長いキャリアを持つ。

### 1 釣りを始めたきっかけ、釣りに関わるエピソードをお聞かせ下さい

10歳でドラムを始め、高校生だった16歳のときから、プロのスタジオミュージシャンとしてデビュー。大切な母親を亡くしてから患った神経症の治療のために、医師に釣りを勧められたのがきっかけで、20歳頃から芦ノ湖へブラックバス釣りに通い、小田原の磯釣りクラブの方と出会って始めたのがイシダイ釣り。22歳か23歳頃です。あまりの面白さに「東京鶴亀磯釣会」を結成し、初代会長となりました。80年代になりYMO(イエロー・マジック・オーケストラ)ブームが起きた頃は、有名になったこともあり外出しても気が休まらなかったのですが、イシダイ釣り師の中に入ると、僕は普通のお客さんの一人で、初めのうちは、渡船でも「東京で音楽やってんだって?どこのキャバレーだい?」とか言われる気軽さがうれしかったですね。あの頃はインタビにねじりハチマキで本物の「イシモノ師」だったけど、身体もつらくなってきて出会ったのがフライフィッシングで徐々に傾倒し開眼していきました。

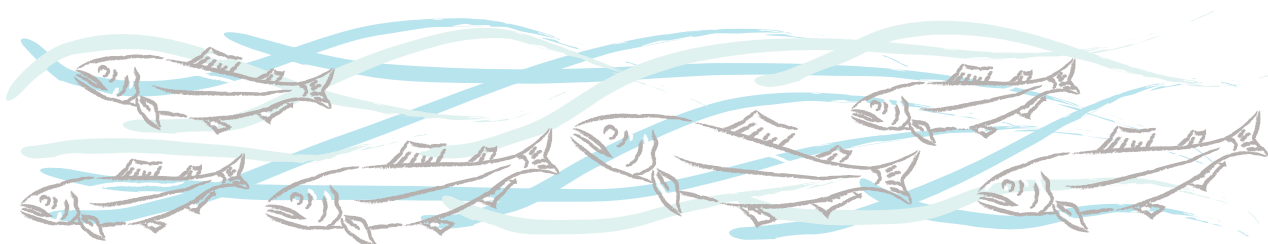
### 2 お好きな釣りをお聞かせ下さい

ルアー、イシダイ釣りを経て、フライフィッシングへとたどり着いた今は、フライフィッシングにどっぷりです。釣りのなかでもとりわけフライは奥が深いと思います。フライフィッシングを通じて多くの素敵な仲間ができました。夢枕獏さんとか、西山徹さんなんかとも交流が生まれました。好きな溪流フィールドは、日本では主に北海道と秋田県や青森県の北東北です。バンブーロードで趣深く渓魚と戯れることも大好きです。溪流好きが高じて、長野県の避暑地に小川が流れている土地を見つけ家を建てています。その敷地内の小川のせせらぎで渓魚が群れ遊ぶ姿を親しい友人と眺めるのが今から楽しみです。とは言っても、基本的に釣りはなんでも好きで、先日は八丈島の防波堤で

釣りを楽しんでできました。4~5年ぶりにイシダイも釣り、他の魚と新鮮なお刺身をいただきました。

### 3 釣りの魅力についてお聞かせ下さい

釣れなくても楽しい。でも、釣れないと悔しい。だから、釣れたほうが楽しい。ただし、がむしゃらに釣るのではなく、いかに美しく釣るかも大切ですね。



## LOVE BLUE委員会からのお知らせ

今年も会員企業の皆様、参加企業・団体の皆様のご理解とご協力のもと、つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業は、日本全国において公平に優先三事業（水辺をキレイに、サカナを守ろう、フィールドを広げよう）を推進してまいります。何卒よろしくお祈り申し上げます。

### つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業 ～環境系トップリーダーとの鼎談～

2019年12月12日（木）、水辺の環境保全活動を社会貢献事業として釣り界を挙げて取り組む、つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業の周知広報の一環として、独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金 小辻智之 理事長と京都大学 松下和夫 名誉教授と一般社団法人日本釣用品工業会 島野容三 会長による「LOVE BLUE世界に誇れる水辺環境の保全」とのテーマでの鼎談（三者対談）が行われました。

今回、国内最大の環境系基金のトップ小辻智之理事長と我が国の環境政策に長く携わられている松下和夫京都大学名誉教授と、一般社団法人日本釣用品工業会 島野容三 会長を結び付けたのは「地球環境基金 企業協働プロジェクト第1号LOVE BLUE助成」の取組です。

これまで2015年から全国各地で累計48団体の水辺の環境保全活動を中心に取り組むNPO・NGO等を釣り人・釣り界が地球環境基金のLOVE BLUE助成を通じて支援させて頂いてきました。

その活動に対して環境大臣から感謝状も授与されるなど少しずつ社会的な評価を得つつある状況などを背景に、この度、地球環境基金が3月1日に発行する「地球環境基金便り48号特集企画」として鼎談となりました。



(左) 独立行政法人環境再生保全機構・地球環境基金 小辻智之 理事長  
(中央) 一般社団法人日本釣用品工業会 島野容三 会長  
(右) 京都大学 松下和夫 名誉教授



一般社団法人日本釣用品工業会  
島野容三 会長



京都大学  
松下和夫 名誉教授



独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金  
小辻智之 理事長

### LOVE BLUE プロダイバーによる水中クリーンアップ活動

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動（10月から12月）では、新規実施場所2箇所を含む、2県で29日間を実施（2019年度累計21道府県33箇所123日実施：12月末日現在）引き続き、安全作業を最優先に、ご関係の皆様と連携しながら実施して参ります。

#### 10月～12月までの実績

期間	実施日数	実施場所
10/5～10/8	4日間	宮城県石巻市 石巻漁港 新規
10/10～10/12	3日間	宮城県石巻市 石巻漁港 新規
10/16～10/19	4日間	滋賀県長浜市 八木浜舟溜
10/22～10/26	5日間	滋賀県長浜市 南浜漁港
10/29～11/2	5日間	滋賀県近江八幡市 切通し舟溜
11/5～11/6	2日間	滋賀県長浜市 早崎舟溜
11/7～11/8	2日間	滋賀県近江八幡市 牧舟溜
11/10～11/13	4日間	滋賀県彦根市 宇曾川漁港



宮城県石巻市 石巻漁港

## LOVE BLUE 専門機関と連携した放流事業

専門機関と連携した放流事業では今年も引き続き、釣り人の皆様に喜んで頂ける魚種を放流しております。



10月3日(木)、4日(金)大阪府堺市地先、大阪府泉大津市地先 キジハタ種苗5000尾放流(総放流数1万尾)



10月8日(火)大分県佐伯市色宮漁港 イサキ種苗2万8100尾(総放流数5万6200尾)



10月9日(水)大分県大分市佐賀関にて、イサキ種苗2万8100尾(総放流数5万6200尾)



11月6日(水)大阪府堺市地先、大阪府泉大津市地先 キジハタ種苗5000尾放流(総放流数1万尾)

## 水産庁後援 つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE事業 内水面釣り場拡大事業(ワカサギ)

内水面釣り場拡大事業(ワカサギ)では2019年度4自治体の採択を決定致しました。

採択番号	事業主体	実施地
010	北山湖環境保全及び安全対策会	佐賀県 北山湖
011	小国町漁業協同組合	山形県 横川ダム
012	山中湖漁業協同組合	山梨県 山中湖
013	新篠津村	北海道 しのつ湖

## 2019年度 地球環境基金 企業協働プロジェクト LOVE BLUE助成

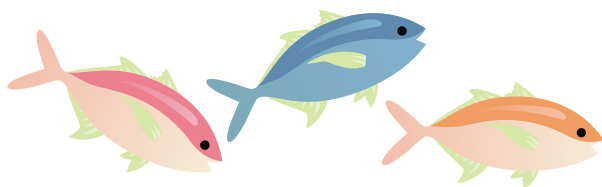
独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金と連携したLOVE BLUE助成では、本事業で採択された水辺の環境保全を目的に活動する12団体(2015年度助成開始以来累計48団体)が、各地で活発に活動されています。各団体の皆様からは「LOVE BLUE助成のおかげで、より充実した活動が行えており、釣り人の皆様に深く感謝します!」とお喜びの言葉をいただいております。引き続き、水辺を守る皆様と連携しながら展開して参ります。



10月19日(土)全国川ごみネットワーク(神奈川県)



11月2日(土)特定非営利活動法人パートナーシップオフィス(山形県)



## 規格・安全委員会からのお知らせ

### ライフジャケット安全・啓発ワーキンググループ (LJWG)

海上保安庁 第八管区海上保安本部主催の「ブルーフェスタ2019 ～海のプロフェッショナルたち～」が10月6日（日）京都府舞鶴市舞鶴港西地区第3ふ頭地域にて開催されました。規格・安全委員会LJWG（高階才文リーダー）では、このイベントに第八管区海上保安本部からの要望を受けて、ライフジャケットの啓蒙のため出展致しました。実際に一般の来場者の皆様にライフジャケットを着用していただいたり、当工業会が作成した、ライフジャケット推奨表や、店頭啓蒙ポスターをお配りして、啓蒙活動を行って参りました。

イベント終了後、第八管区海上保安本部の伊藤裕康本部長（当時）から直筆の御礼状が島野会長宛に送られてきました。今後も海上保安庁並びに全国各管区の海上保安本部と連携をしてより一層ライフジャケット啓蒙を推進して参ります。



10月6日（日）ブルーフェスタ2019 ～海のプロフェッショナルたち～

## 企画プロジェクト ～会員向け初回無料法律相談の実施～

当工業会は会員代表者向けの無料法律相談サービスを行っております。

相談できる内容は主に以下の内容になります。

- ・債権回収・海外取引相談
- ・労務問題
- ・株式売買、事業継承、相続
- ・知的財産権問題
- ・損害賠償、クレーム対応
- ・賃貸借、不動産問題
- ・税務問題

相談料は初回無料です。

## 第23回「釣用品の国内需要動向調査報告書」発刊のご案内

当工業会（市場調査委員会）は、2020年2月に第23回目となる「釣用品国内需要動向調査」報告書を発刊しました。「釣用品国内需要動向調査」は、釣用品メーカーを対象に国内釣用品の出荷量を調査、その回答結果を元にメーカー出荷ベースの釣用品市場規模を算出、更に商品分野別の動向や輸出入統計データ等を掲載した資料です。皆様の商品戦略、営業政策など様々な戦略立案のための基礎データとしてご活用頂ければ幸いです。

### 【調査結果の要約】

2018年の釣用品国内出荷規模は対前年比101.9%の1,392億円、2012年以降7年連続のプラス成長となりました。また、2019年の釣用品国内出荷規模（見込）は対前年比100.4%の1,398億円の見込となりました。

## 第29回理事会報告

去る、令和元年11月28日（木）に大阪市北区、ホテルグランヴィア大阪にて第29回理事会が開催されましたので、概要をご報告致します。

### 第1号議案 委員会活動報告に関する件

#### (1) LOVE BLUE委員会

小島忠雄委員長より、水産庁後援 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）、専門機関と連携した放流事業、周知広報等について報告があり承認された。

#### (2) JAF実行委員会

大村一仁委員長及び事務局より、出展申込状況、釣りフェスティバル2020 3つの施策、釣りフェスティバル2021開催日程について報告があり承認された。

#### (3) 規格・安全委員会

藤井治幸委員長より、関係機関／関係団体との連携等について報告があり承認された。

#### (4) 市場調査委員会

大竹有司委員長より、国内需要動向調査内容、第23回釣用品の国内需要動向調査回答状況（中間）について報告があり承認された。

### 第2号議案 プロジェクト活動報告に関する件

#### (1) 企画プロジェクト報告

事務局より、「あした、釣り行こ！通信」について報告があり承認された。

#### (2) 釣りミライプロジェクト

事務局より、第2回ワークショップ開催について報告があり承認された。

### 第3号議案 令和元年度中間決算監査報告に関する件

森幹雄監事より、中間決算監査報告について報告があり承認された。

### 第4号議案 会員代表者変更及び入退会に関する件

事務局より、入会申込を1社受理しているとの報告があり承認された。

#### 【入会申込】

株式会社BOZLES（ボーズレス）

〒452-0008 愛知県清須市西枇杷島町地領1-15-4 TEL 052-501-0871

代表者：代表取締役 水谷明良氏

業種：取扱品名：ルアー、その他

### 第5号議案 (一社)日本釣用品工業会 後援名義使用許諾申請に関する件

### 第6号議案 その他報告承認に関する件

#### (1) 令和2年度(2020年度)会議開催日程(案)に関する件

#### (2) ロイヤルアングラ賞2020に関する件

#### (3) 『放課後ていぼう日誌』に関する件

#### (4) その他に関する件

## 会員情報

### 《入会会員》

#### 株式会社BOZLES

代表者 代表取締役 水谷 明良氏

〒452-0008 愛知県清須市西枇杷島町地領1-15-4

TEL 052-501-0871 FAX 052-501-0872

### 《移転のお知らせ》

#### 株式会社ゴーゼン

〒541-0048 大阪府大阪市中央区瓦町3-3-10

ニッケ大阪ビル4階

TEL 06-6175-7115 FAX 06-6201-0743



## 事務局だより

◆明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年も事務局職員一同各事業の推進と当工業会の活性化を図ってまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

◆本年度も「第23回釣用品国内需要動向調査報告書」を発刊しました。

皆様の業界動向の把握と将来への戦略立案にご活用頂ければ幸いです。また、今回の調査にご協力頂きました釣り関連の製造業者様・流通関連会社様・業界関連の皆様及び市場調査委員会の皆様には、心から御礼を申し上げます。

**JAFTMA**  
JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

一般社団法人

**日本釣用品工業会**

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館5F

TEL 03 (3555) 0101 (代表) FAX 03 (5542) 2929 <http://www.jaftma.or.jp/>